

射水市
小杉駅周辺地区まちづくり基本構想
検討業務委託
報告書（概要版）

令和2年3月

射 水 市

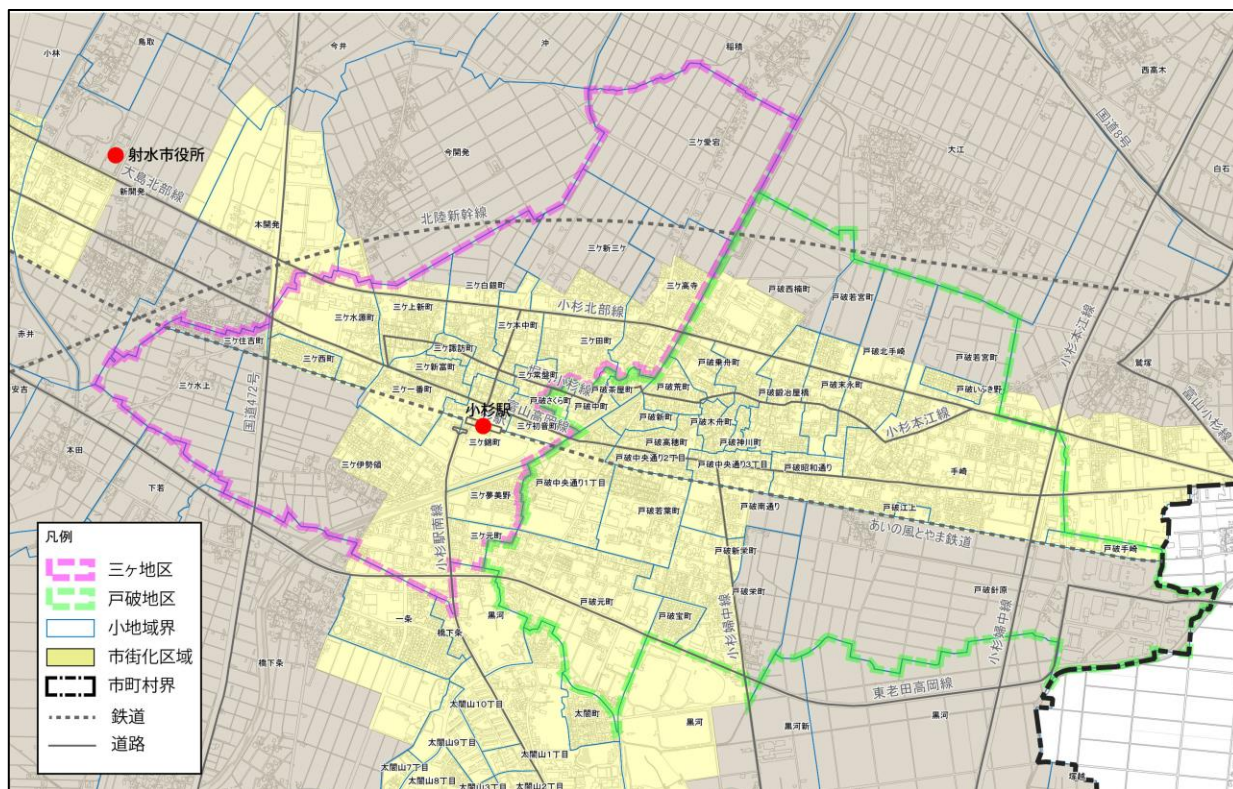
第1章 現況と課題の整理

第1節 現状の分析

1 小杉駅周辺地区の状況

小杉駅周辺地区の現状について整理・分析する。国勢調査などの統計データを用いる場合は、三ヶ地区及び戸破地区を対象範囲とし、以下の記述においては当該2地区を合わせて「小杉駅周辺地区」という。(図表1)

図表1 小杉駅周辺地区の調査分析範囲



(1) 人口、世帯数

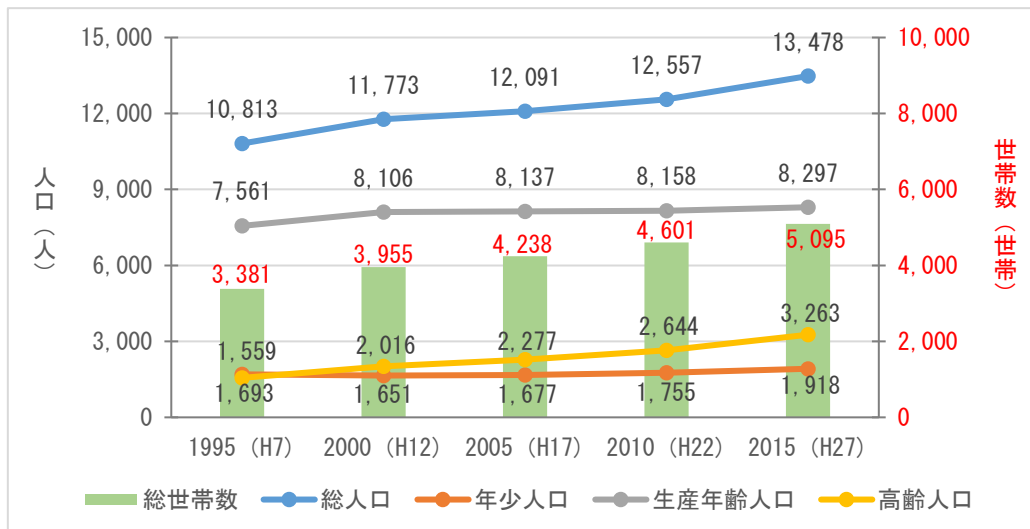
① 地区全体の人口、世帯数

- ・小杉駅周辺地区の平成27(2015)年の人口は13,478人であり、増加傾向にある。
- ・年齢(3区分)別にみると、生産年齢人口(15歳～64歳)はやや減少し、年少人口(14歳以下)及び高齢人口(65歳以上)は増加傾向にある。(図表2)
- ・平成27(2015)年の高齢化率は24.2%で、市全体(28.7%)よりやや低く、年少人口率

は2015年（H27）14.2%で、市全体（13.4%）よりやや高い。（図表3）

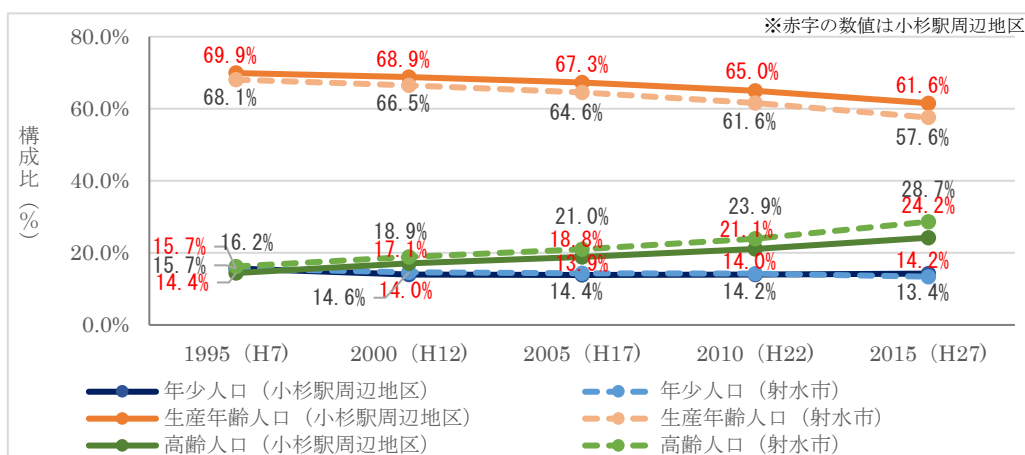
- ・世帯数は平成27（2015）年5,095世帯で、総数は増加傾向にある。世帯類型別にみると核家族世帯、単身世帯（とりわけ65歳以上の単身世帯）が増加している。（図表4）

図表2 小杉駅周辺地区の人口推移



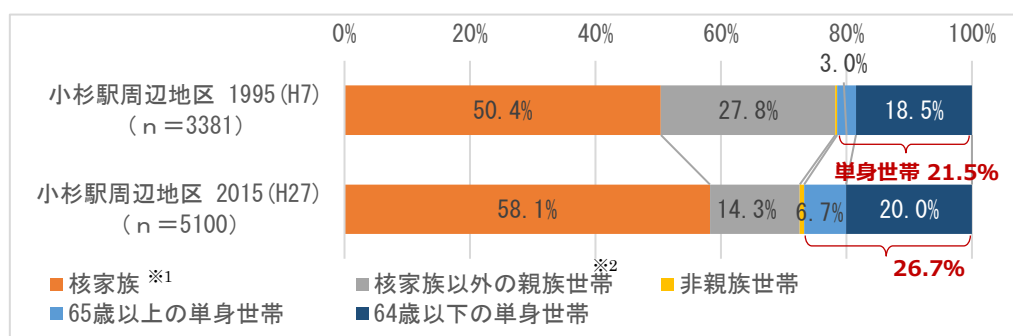
資料：国勢調査

図表3 小杉駅周辺地区の高齢化率等の推移



資料：国勢調査

図表4 小杉駅周辺地区の世帯類型別世帯数の推移

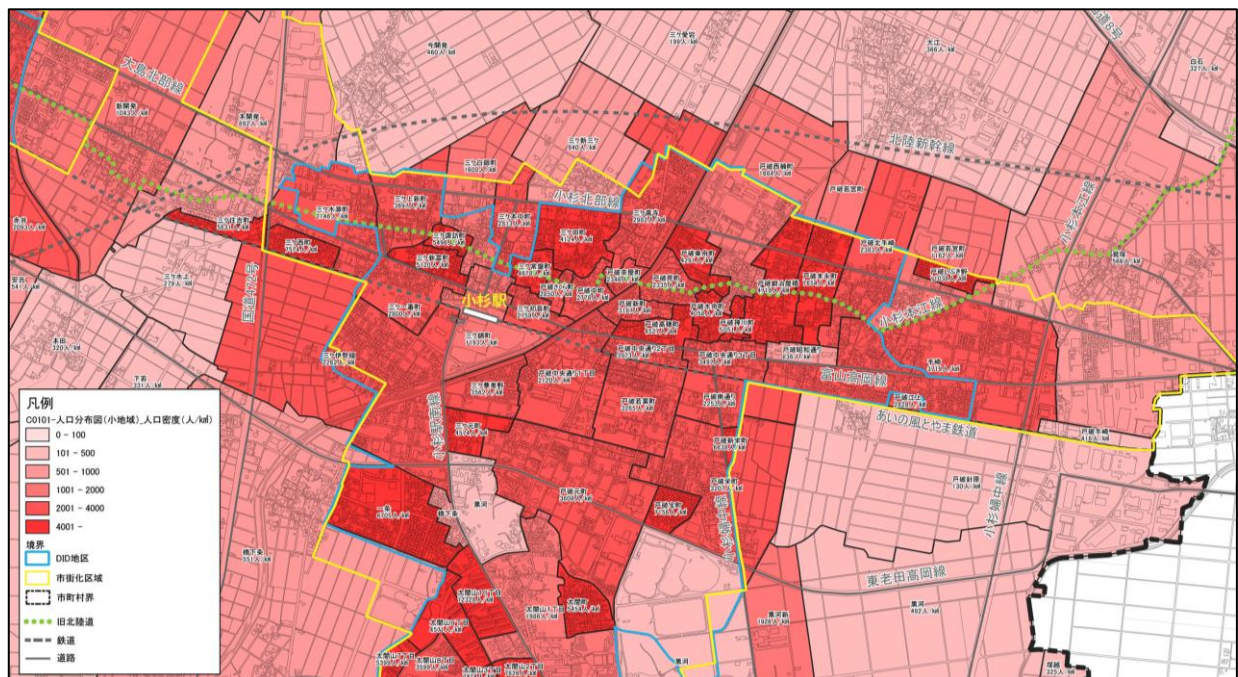


資料：国勢調査

② 地区別（町丁目別）の人口、世帯数の分布

- ・小杉駅周辺地区の平成 27（2015）年の人口密度は農業エリアも含む全域で約 2400 人/km²であるが、市街化区域の大部分は 4000 人/km²以上の DID(人口集中地区)になっている。その中でも旧北陸道（小杉本江線、堀岡小杉線）を中心に古くから形成された市街地や周辺部の住宅開発地などで人口密度の高い地区が多くみられる。（図表 5）
- ・平成 17（2005）年～平成 27（2015）年の 10 年間での人口増減をみると、小杉駅直近部で減少し、少し離れた比較的新しい住宅地区で増加している。（図表 6）
- ・高齢化率は、総じて小杉駅北側の市街地で高くなっている。（図表 8）

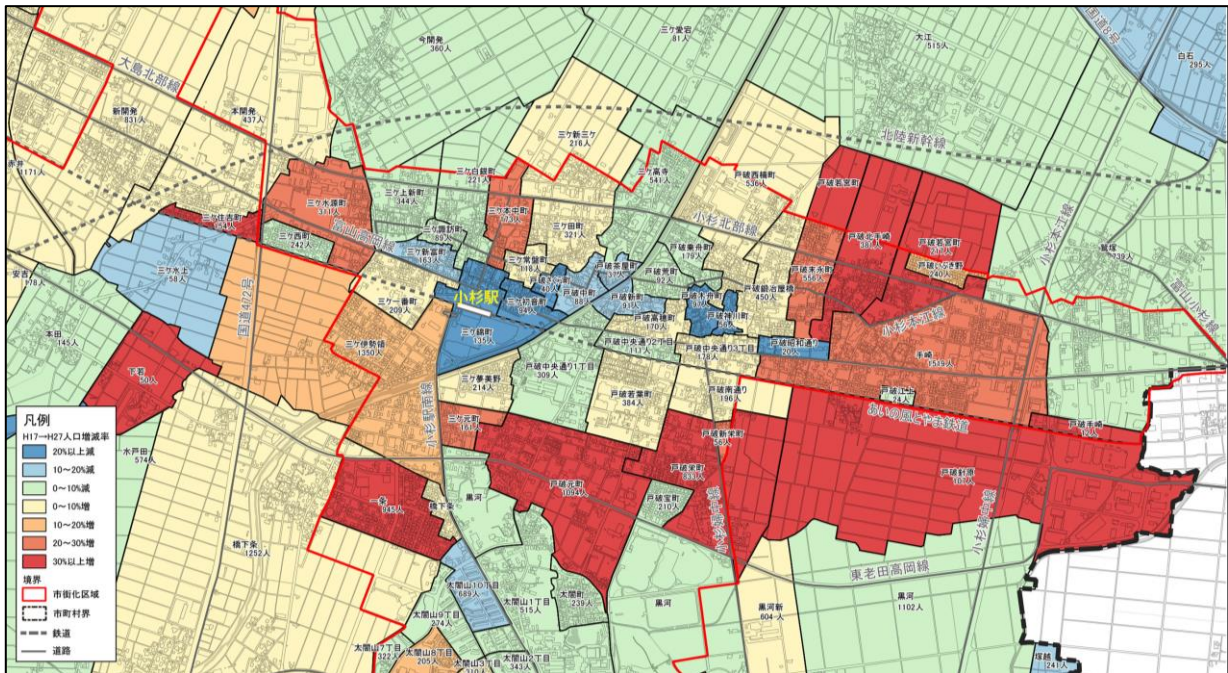
図表 5 小杉駅周辺地区の地区別人口密度（H27）



※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

資料：国勢調査

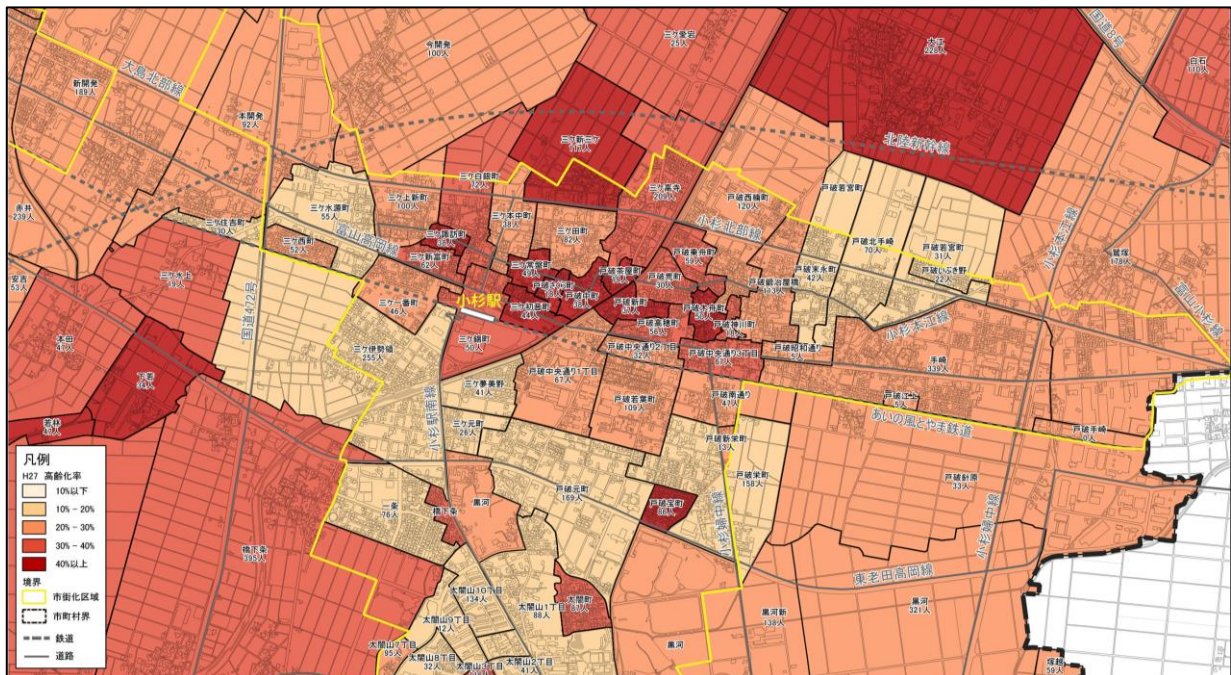
図表6 小杉駅周辺地区の地区別人口増減 (H17~H27)



※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

資料：国勢調査

図表8 小杉駅周辺地区の地区別高齢化率 (H27)



※小地域区分における飛び地は、当該主要地域に含めて集計し、一体の地域として同色で表示している。

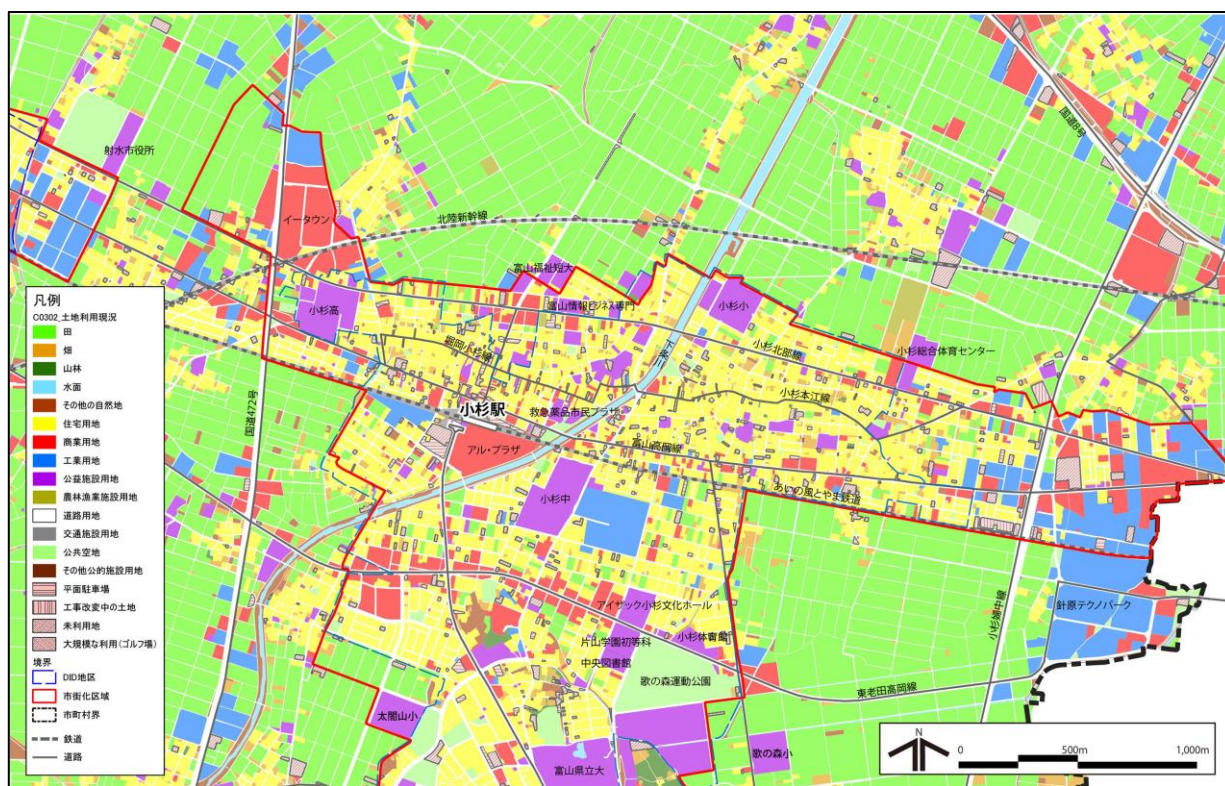
資料：国勢調査

(2) 土地利用・建物の状況

① 土地利用現況

- ・あいの風とやま鉄道の北側は、主要地方道富山高岡線と都市計画道路小杉北部線の沿道及びその中間エリアを中心として東西方向に住宅市街地が広がっている。幹線道路沿道には商業用地が点在している。(図表 9)
- ・あいの風とやま鉄道の南側は、小杉駅前から太閤山方面に向かって住宅市街地が広がっている。都市計画道路東老田高岡線沿道にはロードサイド型の商業施設が集積している。(図表 9)

図表 9 小杉駅周辺地区の土地利用現況

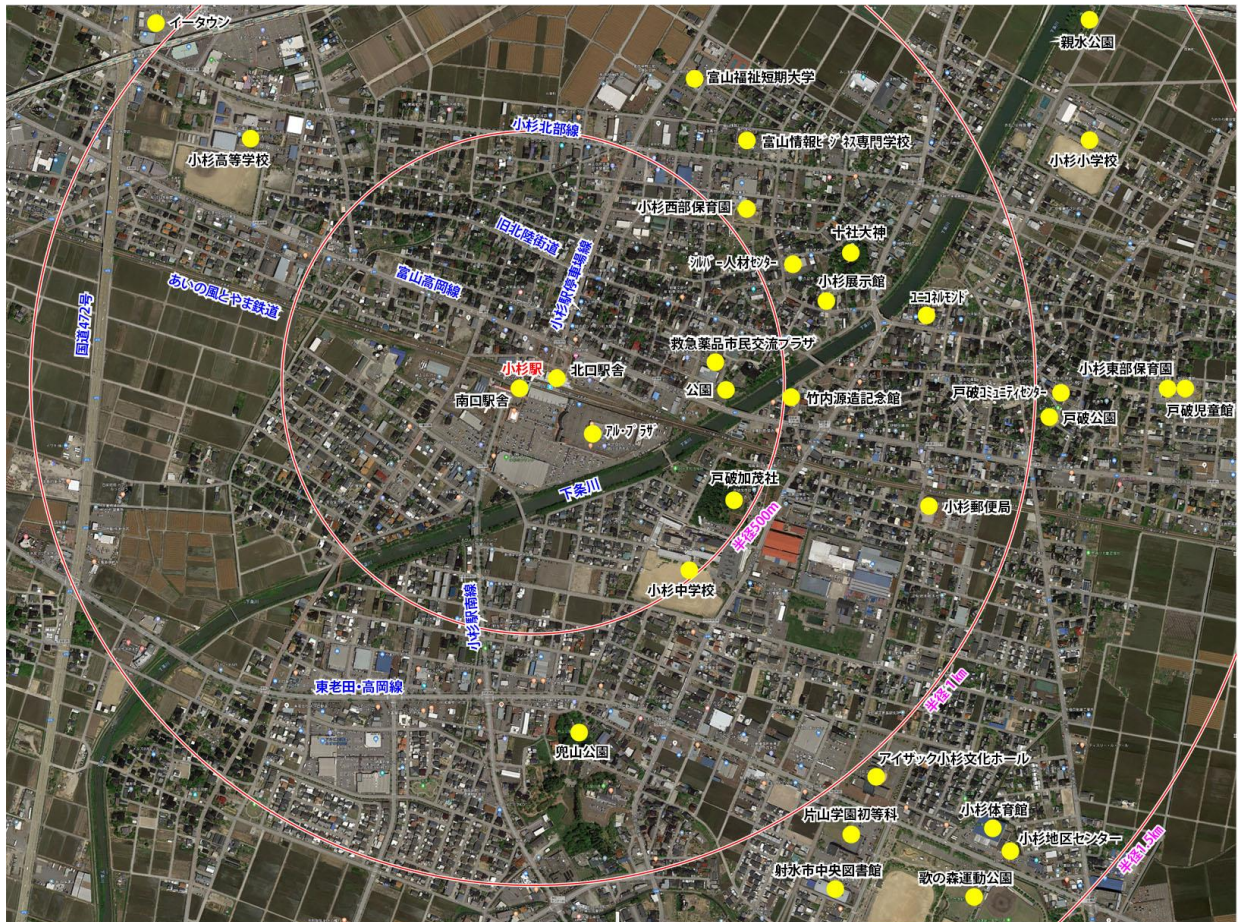


資料：射水市都市計画基礎調査 (H30)

② 主要施設の状況

- ・あいの風とやま鉄道の北側には、救急薬品市民交流プラザ、小杉展示館、竹内源造記念館、小杉高等学校、富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校などがある。
- ・あいの風とやま鉄道の南側には、小杉駅直近に大規模商業施設があり、小杉駅より約1km南東にアイザック小杉文化ホール、射水市中央図書館、小杉体育館、小杉地区センター、歌の森運動公園などがある。(図表10)

図表10 小杉駅周辺地区の主要施設の分布



航空写真：Google

③ 建物建築年数別現況

- ・小杉駅北側には昭和46(1971)年以前に建築された建築後年数が50年以上経過した古い建物が多く分布している。(図表11)
- ・駅南側には平成2(1990)年以降に建てられた比較的新しい建物が多く分布している。(図表11)

図表11 小杉駅周辺地区の建築年数別現況

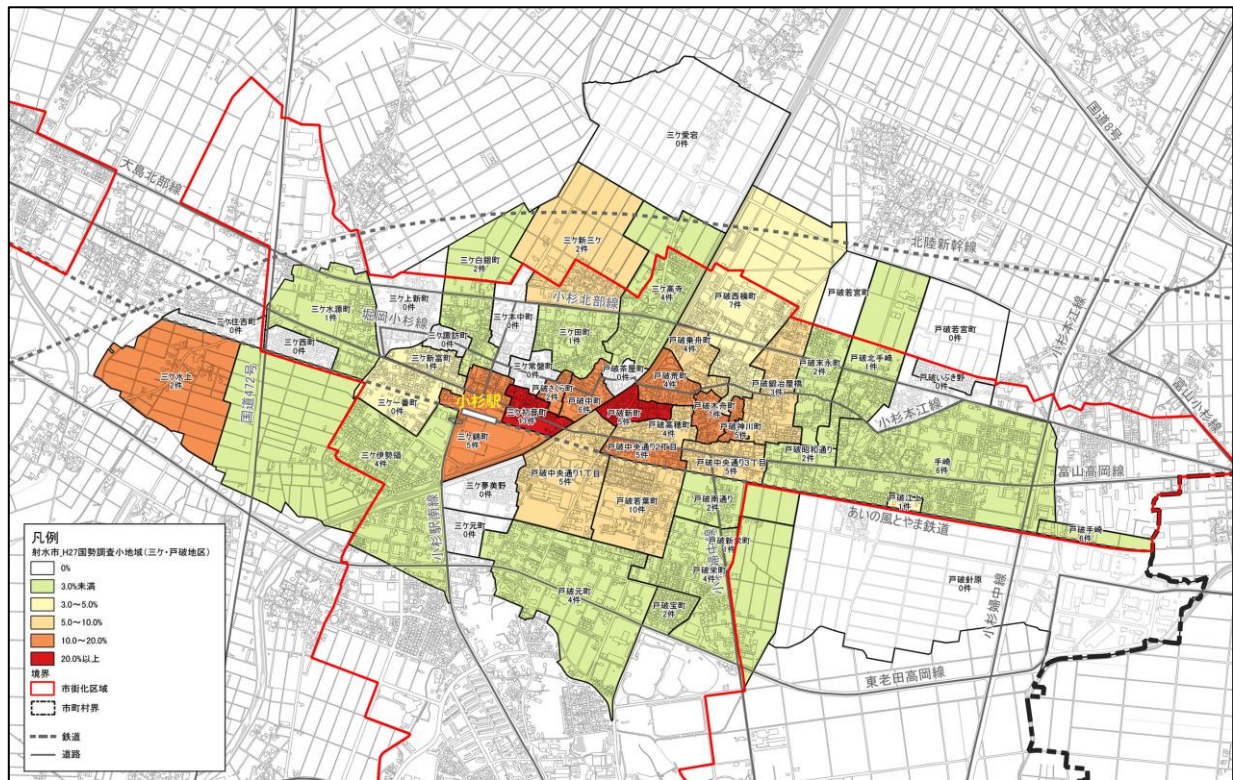


資料：射水市都市計画基礎調査 (H30)

④ 空き家の分布

- ・小杉駅周辺地区の平成 28(2016)年における空き家件数は 138 件であり、空き家率は 3.6% で射水市全体の空き家率 5.6%よりやや低い。
- ・地区別にみると、小杉駅直近部及び旧北陸道の宿場町として栄えた街道沿いで高く、中でも三ヶ初音町、戸破新町の空き家率が 20%以上と最も高くなっている。(図表 12)

図表 12 小杉駅周辺地区の空き家の分布 (H29)



※空き家率は、実態調査で把握している全世帯数に基づく割合。倉庫、店舗数等は含まない。

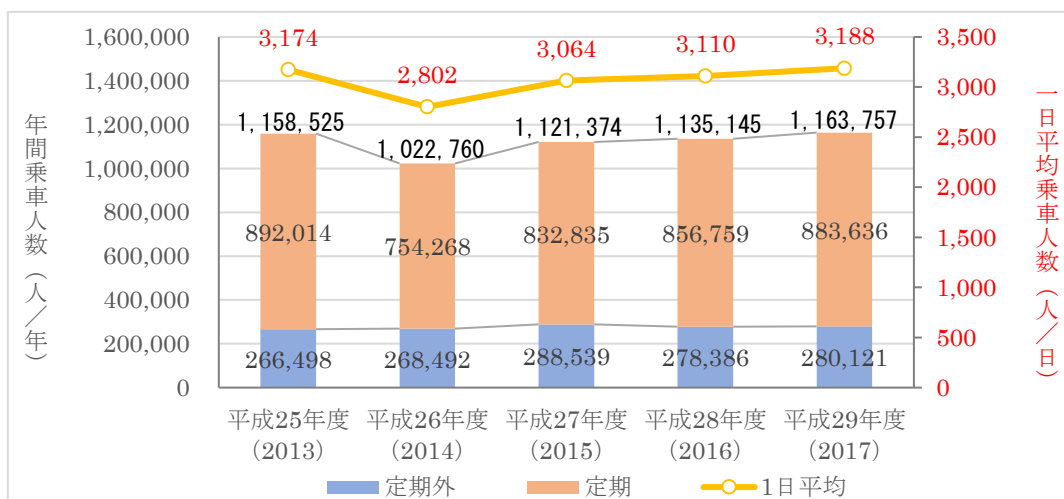
資料：射水市空家実態調査(H29.3)

(3) 交通の状況

① 小杉駅（あいの風とやま鉄道）の利用状況

- あいの風とやま鉄道小杉駅の1日当たり利用者数（乗車人員）は、平成29（2017）年度3,188人であり、平成26（2014）年度以降年々増加傾向にある。約3/4が定期利用で約1/4が定期外利用となっている。（図表13）

図表13 小杉駅（あいの風とやま鉄道）の利用者数の推移

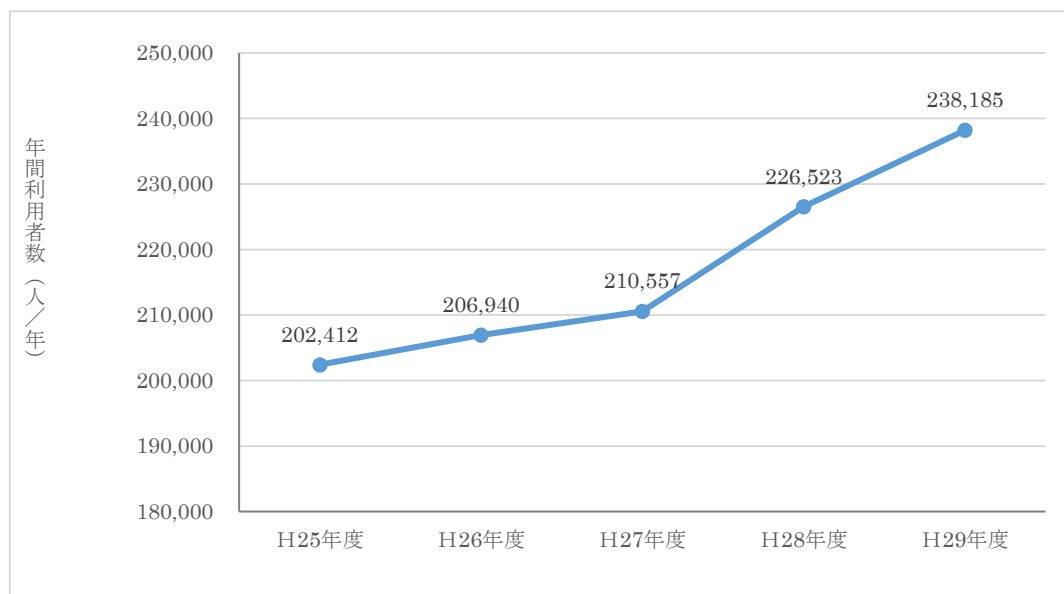


資料：あいの風とやま鉄道（株）

② 小杉駅（又は小杉）を經由する路線バス、コミュニティバスの運行状況 （路線数、運行本数）

- 小杉駅（又は小杉）を經由する路線バスは、富山地方鉄道（株）が運行する8路線。
- 利用者数は全体では年々増加している。（図表16）

図表16 小杉駅経由のコミュニティバス12路線全体の利用者数の推移

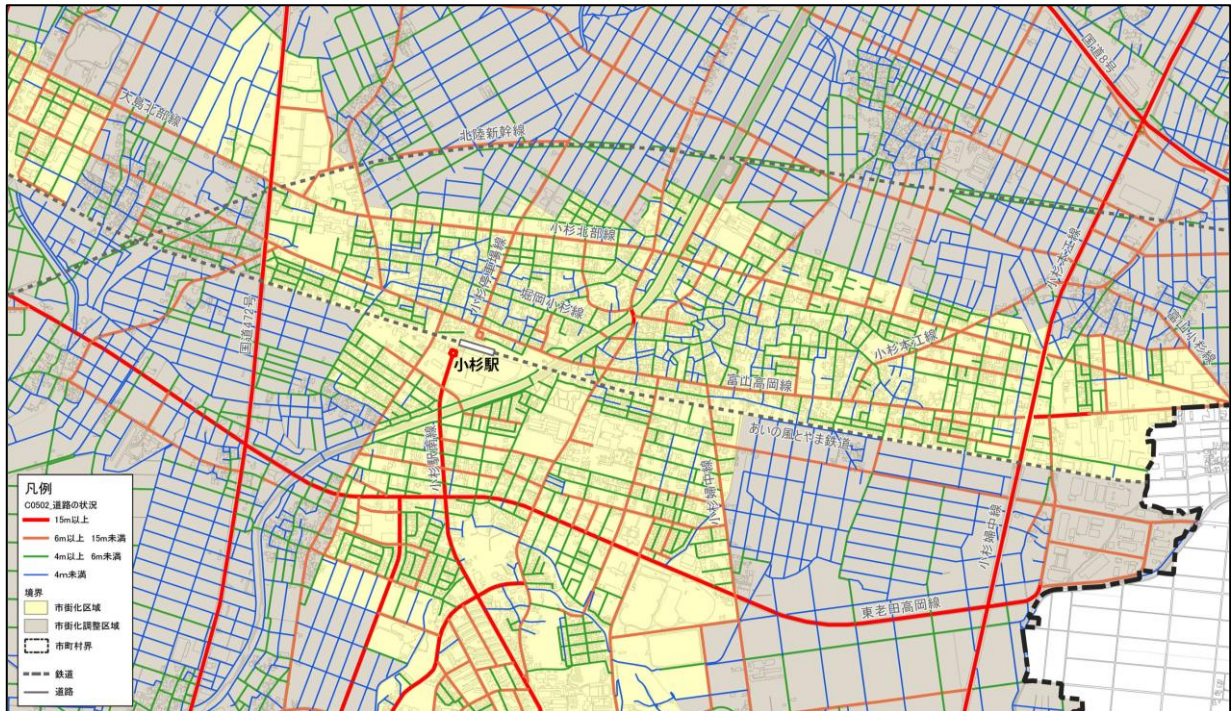


資料：射水市統計書（平成30年度版）

④ 道路交通の状況

- ・小杉駅北側市街地は、幅員4m未満の狭隘な道路が多く、また街区形状も不整形で行き止まりの道路も散見され、道路基盤の脆弱な市街地構造になっている。(図表19)
- ・駅南側市街地は、幅員4m以上の道路で整形な街区が形成されている。
- ・南北市街地を結ぶ道路はほとんどが踏切で、朝夕のピーク時間帯には鉄道による遮断交通量が多く、南北交通に支障を来す状況になっている。

図表 19 小杉駅周辺地区の道路の状況



資料：射水市都市計画基礎調査（H30）

(6) 法的規制等の状況（都市計画）

- ・小杉駅北側では、都市計画道路小杉停車場線沿いに商業地域、主要地方道富山高岡線及び旧北陸道（一般県道堀岡小杉線、一般県道小杉本江線）沿いに広がる市街地に近隣商業地域、その他の市街地は住居系の用途地域が指定されている。（図表 23）
- ・小杉駅南側では、駅前に商業地域、都市計画道路東老田高岡線沿線の一部に近隣商業地域、小杉中学校東側の街区に準工業地域、その他の市街地は住居系の用途地域が指定されている。（図表 23）

図表 23 小杉駅周辺地区の都市計画



出典：射水市

2 小杉駅周辺（直近部）の状況

○南北駅舎（待合室、トイレ）、南北連絡自由通路（地下道）

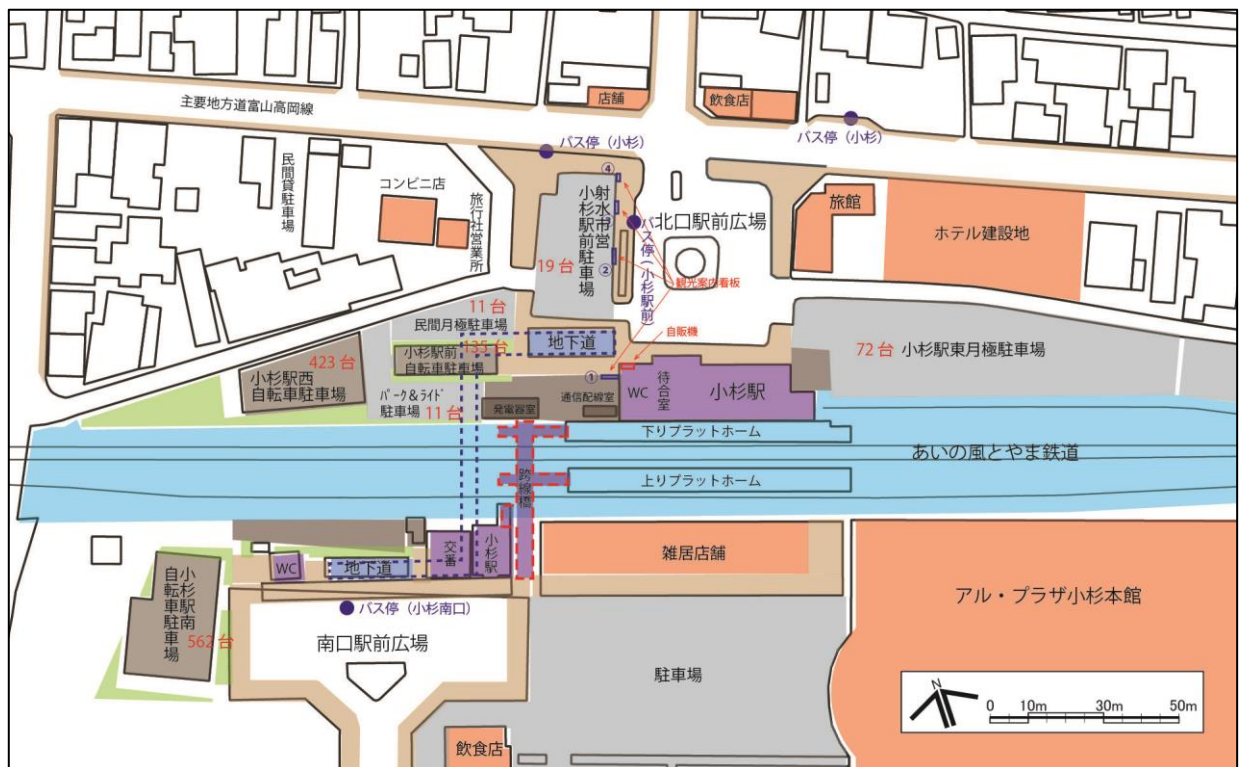
○公共駐車場・駐輪場

- ・公共駐車場は、駅北口に市営無料駐車場（13台）、有料（月極）駐車場（45台）、小杉駅でのJR長距離切符購入者のための無料パーク&ライド駐車場（11台）が設置されている。
- ・市営の駐輪場は、駅北口（135台、423台）及び南口（562台）にそれぞれ設置されている。

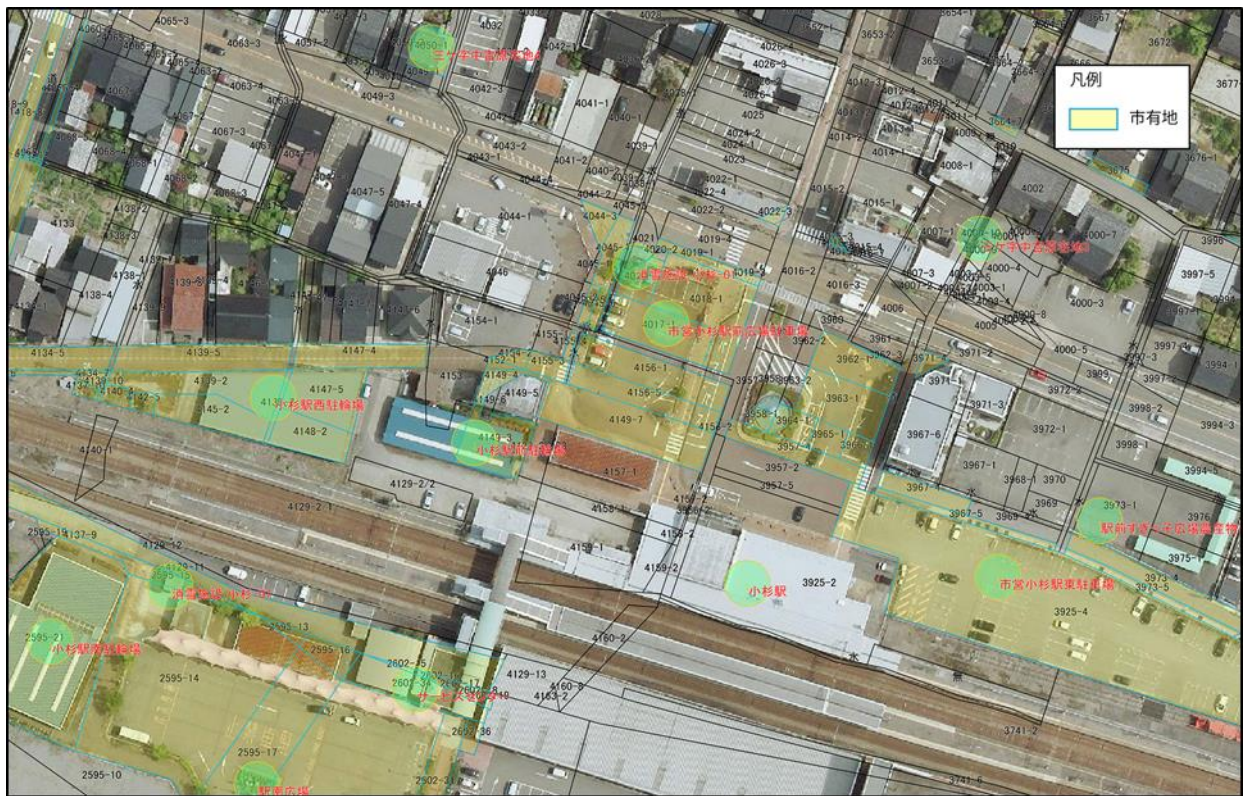
○駅のバス停

- ・駅のバス停は、北口では駅前広場内に「小杉駅前」、広場外に「小杉」。南口では駅前広場内に「小杉南口」が設置されている。（図表 25）

図表 25 小杉駅直近部の土地利用、主要施設



図表 27 小杉駅直近部の市有地の分布



射水市地図情報システム(R2.3)

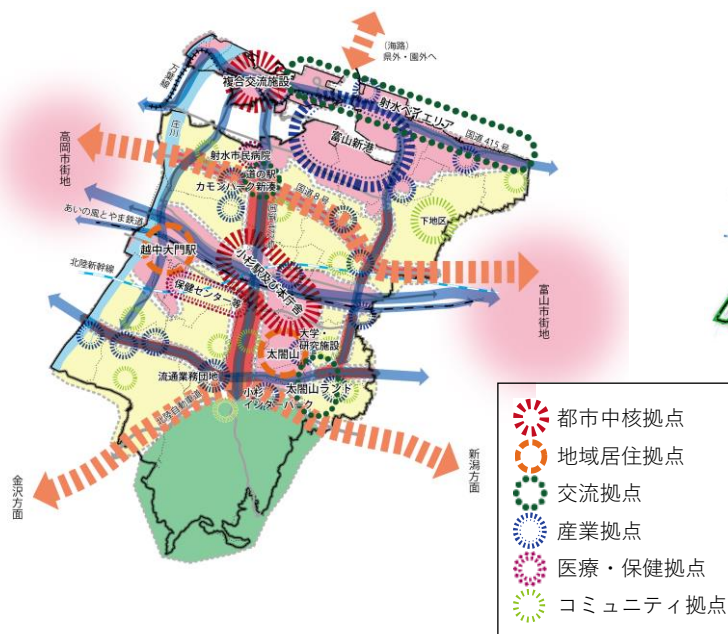
第2節 既存計画との関係整理

1 射水市都市計画マスタープラン（計画期間：令和2年度～令和21年度）

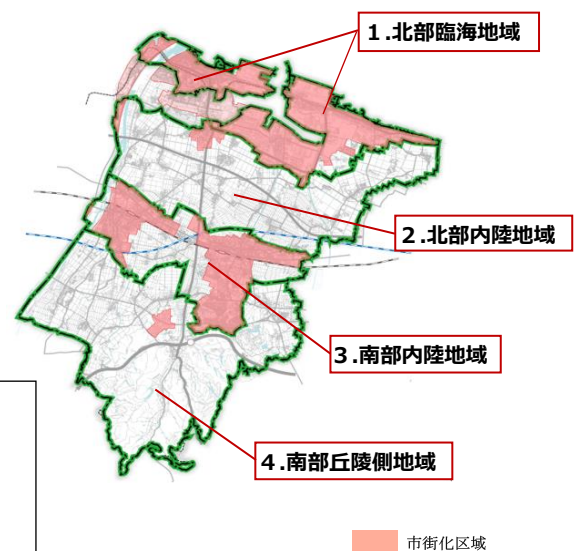
（1）地域の位置づけ

マスタープランの全体構想において、小杉駅及び市役所本庁舎を含むエリアは、「都市中核拠点」として位置づけられている。

■全体構想図



■地域別構想の地域区分図



出典：射水市都市計画マスタープラン

（2）地域の方向性（南部内陸地域）

マスタープランでは、全市域を4つの地域に区分し、地域別の構想がとりまとめられている。小杉駅周辺地区は、南部内陸地域に含まれる。

■南部内陸地域の方向性

文教、学術、交通、多様な都市機能が集積し、にぎわいあふれる、暮らしやすいまち

① 公共交通や生活利便機能の充実により、快適で利便性の高い暮らしやすいまちづくり

利便性の高い交通環境や医療・福祉、買物等の生活利便施設の維持・充実を図り、暮らしやすい環境の創出に努める。また、都市中核拠点をはじめとした多くの拠点が集積する地域として、各拠点をつなぐ公共交通の充実、歩道の充実、身近な店舗等の立地誘

導等により、歩いて快適なまちづくりを推進する。

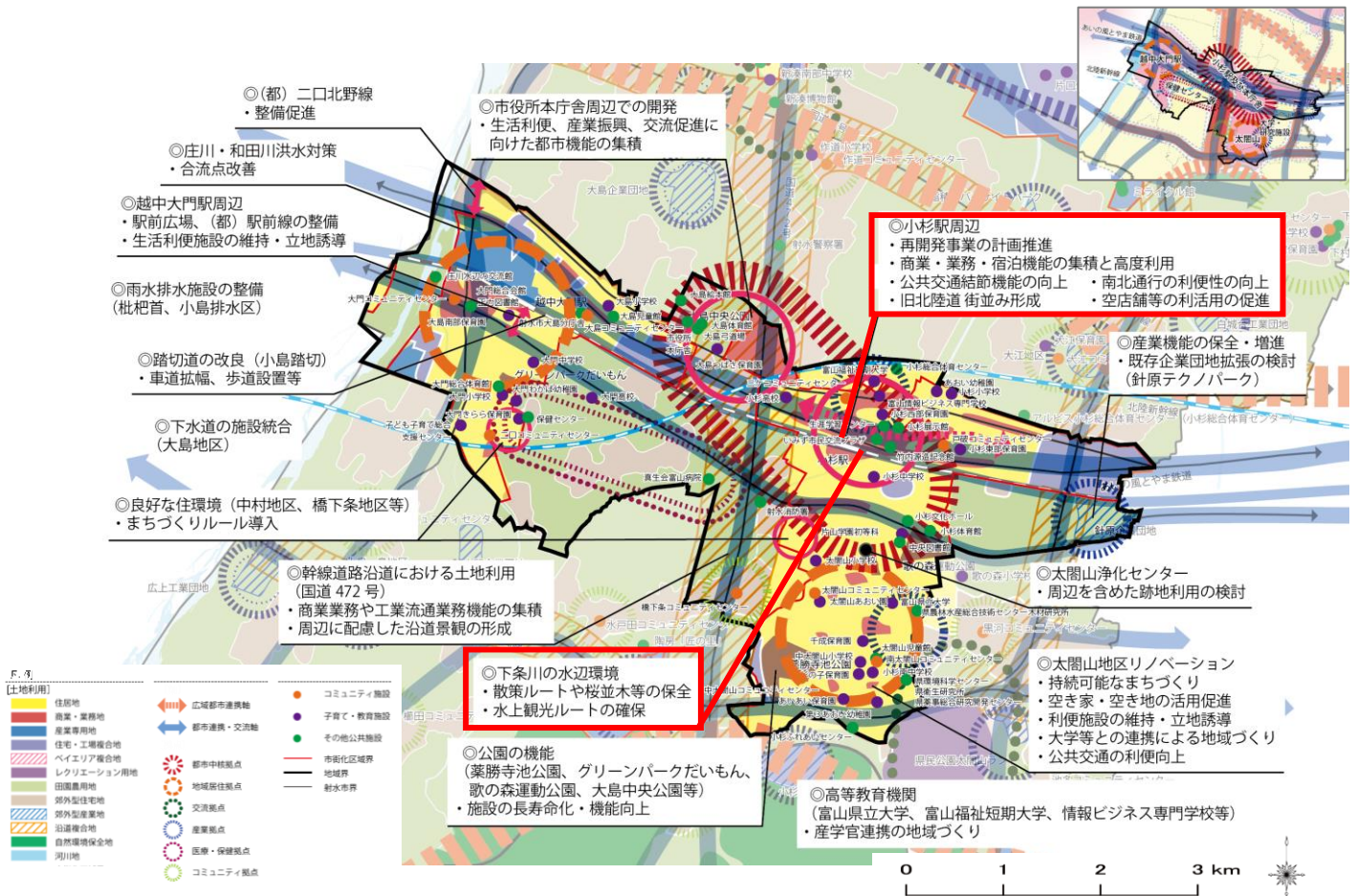
② 高等教育機関や研究機関等との連携を通じて、新たな活力を育むまちづくり

市内に立地する高等教育機関や研究機関等との連携を通じ、研究者・学生、事業者等と行政と連携し、地場産業の強化、新たな産業の創出等の学術のまちづくりに向けた取組など、新たな活力を育むまちづくりを推進する。

③ 都市機能の集積を活かし、人々の多様な交流を促すまちづくり

居住、商業、交通、公益、文教等の都市機能と、豊かな水、緑の環境及び歴史・文化資産等の集積を生かし、人々の多様な交流を促し、まちににぎわいがあふれるまちづくりを推進する。

■南部内陸地域の主な都市整備方針図



2 既往事業計画等

(1) 歴史と文化が薫るまちづくり事業計画

【目指すまちづくりの方向】

1) 伝統技術「鍍絵」を活かしたまちづくり

- ・竹内源造記念館を核とした左官職人の伝統技術「鍍絵」の要素とイメージを盛り込んだソフト・ハード事業の展開。

2) 潜在的価値を秘めた地域資源の周知・活用の推進

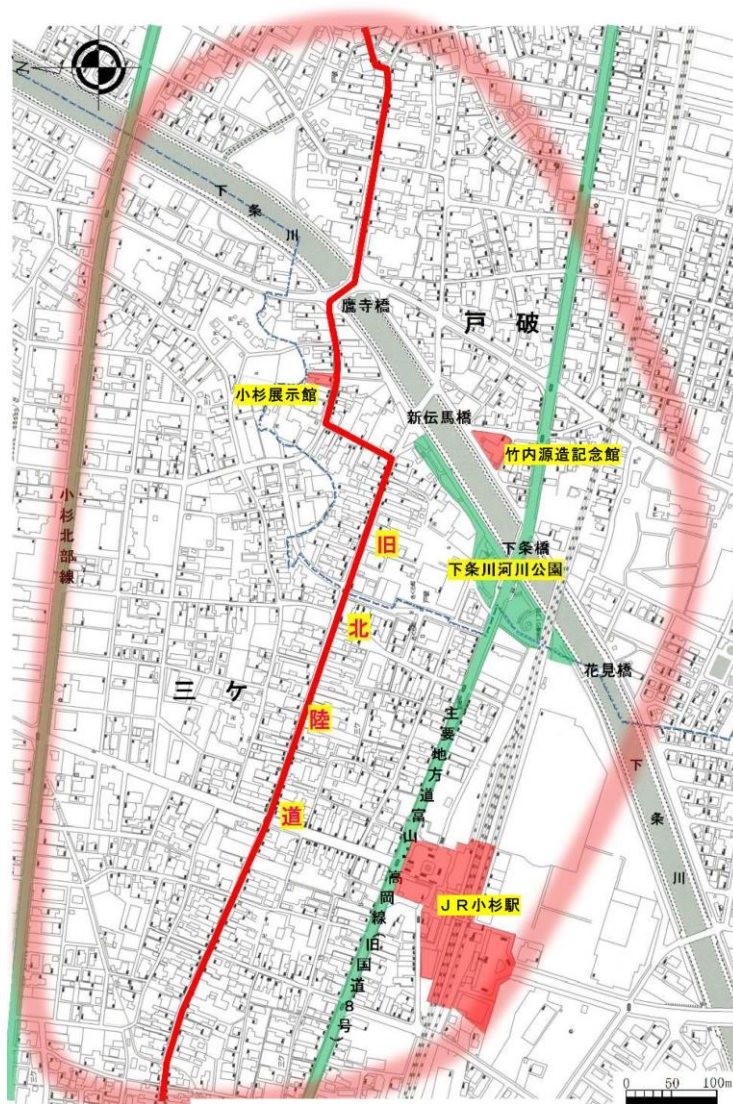
- ・史跡や歴史的エピソードなど、地域資源の情報収集・整理を進め、解説板の整備や観光ガイド・エリアマップ等の作成。

3) 地域活性化のための継続的・長期的な取り組みの推進

- ・地域資源の効果的・継続的活用が図れるよう、まちづくりの牽引役となる各種団体や地域住民同士の交流・連携を促進。

4) 地域資源の連携

- ・「全国鍍絵サミット in とやま射水（仮称）」の開催を計画し、鍍絵そのものの認知度の向上、モデル地域から全国へ向けた「鍍絵のまち小杉」の情報発信、全国的な交流の促進を図り、「鍍絵を活かしたまちづくり」を目指す。



モデル地域のエリア

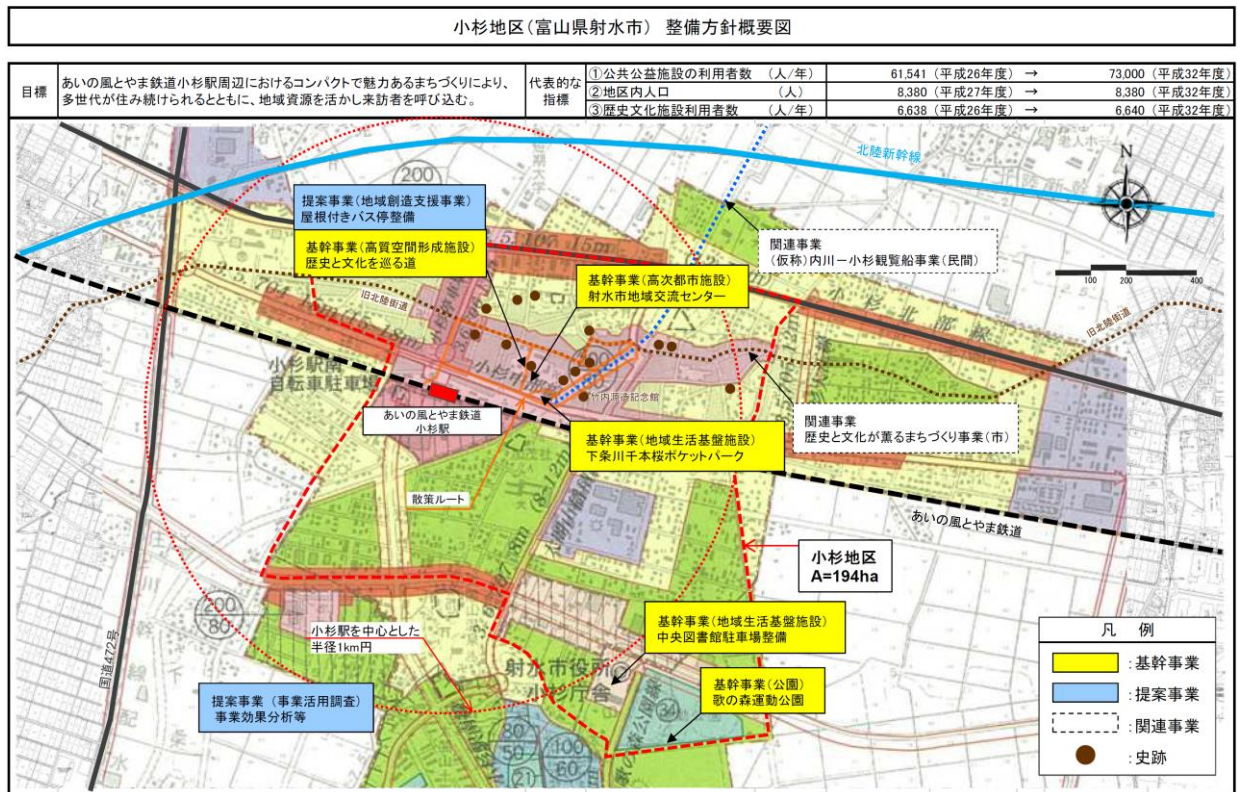
出典：「歴史と文化が薫るまちづくり事業計画」（平成 26 年 3 月／射水市）

(2) 小杉地区都市再生整備計画

「都市再生整備計画（第3回変更）“小杉地区”」（令和2年1月／射水市）より

【計画区域の整備方針】

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1（公共施設機能のコンパクト化） ・あいの風とやま鉄道小杉駅を中心としたエリアに公共・公益施設を集約し、地域住民の交流が図られる地域活性化の拠点とする。	■ 基幹事業 ・射水市地域交流センター【高次都市施設（地域交流センター）】 ・歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設（緑化施設等）】 ■ 提案事業 ・事業効果分析等【事業活用調査】
整備方針2（生活利便性の向上） ・生活に利用する社会資本を整備し、生活利便性を向上させる。	■ 基幹事業 ・歌の森運動公園【公園】 ・中央図書館駐車場整備【地域生活基盤施設（駐車場）】 ・射水市地域交流センター【高次都市施設（地域交流センター）】 ・歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設（緑化施設等）】 ■ 提案事業 ・屋根付きバス停整備【地域創造支援事業】
整備方針3（交流人口の拡大） ・新たに散策エリアを形成するために必要となる拠点を整備する。	■ 基幹事業 ・下条川千本桜ポケットパーク【地域生活基盤施設（広場）】 ・歴史と文化を巡る道【高質空間形成施設（緑化施設等）】 ■ 関連事業 ・歴史と文化が薫るまちづくり事業（H26～28）（射水市） ・（仮称）内川－小杉観覧船事業（桝新湊観光船）



出典：「都市再生整備計画（第3回変更）“小杉地区”」（令和2年1月／射水市）

(3) 小杉駅活性化に関する提言（小杉まちづくり協議会）

「小杉駅活性化に関する提言書」（令和元年 12 月 18 日／小杉まちづくり協議会・小杉駅活性化プロジェクトチーム）の概要を以下に整理する。

① 小杉駅整備にあたっての基本的考え方

- ・小杉駅の南北一体化（橋上化）を前提とする。
- ・学園未来都市射水のシンボルとし、若者が街に誇りや夢を持てる駅とする。
- ・射水市の強み（大学や研究機関が小杉駅近隣に集積、富山駅から 10 分、かつ県の中心に位置する立地環境、子育て環境をはじめ住環境の良さ）を最大限生かした駅とする。
- ・施設整備に係る財政負担が将来の重荷とならないように市の公共施設をできる限り小杉駅に集約することを念頭におく。

② 小杉駅整備の具体的な展開アイデア

1) 研究・学習施設を併設し、学園都市の中核拠点とする

- ・創業支援（学生ベンチャーなど）のためのインキュベーション施設の整備
- ・カフェ併設の新図書館整備（市内既存図書館の集約整備）

2) 子育て支援や健康寿命延伸など地域課題を解決する拠点とする

- ・送迎保育ステーション（子育て支援施設）の整備
- ・健康寿命延伸（高齢者・サラリーマン世代）に向け、フィットネスジムを含むスポーツ施設の整備
- ・小杉地区センター（現時点では公共施設再編方針の対象外）の機能を小杉駅に集約し、住民サービスほか観光案内等も行う複合行政拠点を整備

3) 射水市の玄関口として公共交通や賑わいの中核拠点とする

- ・小杉～新湊間の水上交通の確立（下条川の遊覧等）
- ・公共交通ターミナル整備（新湊地区はじめ市内観光地や市民生活の足の拠点とする）
- ・シェアサイクルやシェアバイクの拠点の整備
- ・小杉駅周辺に射水市の食の魅力を味わえる飲食店街を誘致（射水の食の魅力をアンテナショップ的に発信）

小杉駅の将来イメージ



出典：「小杉駅活性化に関する提言書」

第3節 地域住民の意向整理

1 住民意見交換会における意見のまとめ

都市計画マスタープラン策定の一環として令和元年度に三ヶ地区及び戸破地区を対象に実施したワークショップ方式による住民意見交換会で得られた意見等を以下に整理する。

1) 良好な居住環境の維持・創出

- 空き家の活用（・シェアハウスとして学生向けに供給、・リニューアルしてアパート住民向けに供給）
- 高齢者住宅等の整備（・福祉短期大学の立地を活かし連携してシェア金沢のような三世代が暮らせる住宅地整備、・医療機関と高齢者居住のセット開発）
- 安全・安心の環境整備（・通学路の安全性向上（道路・歩道の整備）、・防犯カメラの設置、・下条川の洪水対策、・雪対策（1人暮らし））

2) 小杉駅周辺における「にぎわい」の維持・創出

- 小杉駅舎の整備及び南北自由通路の整備（・橋上駅舎に建て替え、イベントスペース確保）
- 駅を利用する人々が集う機能集積・場所づくり（・小杉駅に保育所、公民館、図書館分館等の誘致、・駅の近くに、若い人が集まり交流できる場確保）
- 小杉駅周辺の賑わい創出（・夜間の賑わい創出、・企業と地域が連携して賑わいづくり、・文教ゾーンとして魅力を高める、・駅前の道路を止めて納涼祭を、・小杉駅横の駐車場の有効活用（公園にする等））

3) 小杉駅周辺の基盤整備

- 北口駅周辺の再開発（・市営駐車場、駐輪場の活用など）
- 駅周辺の基盤整備（・歩道の整備、通学路の整備、・電柱の地下埋設、・小杉駅周辺の土地区画整理事業の推進）
- 駅南北をつなぐ道路等の整備（・小杉駅を中心とする南北連絡の強化、・踏切拡幅）

4) 公共交通機能の維持・充実

- バス運行ダイヤ、ルートの見直し等（・小杉駅発着のコミュニティバスの充実、・地域間交通の連絡強化、・コミュニティバスで観光地巡りルートの開発、・デマンドタクシーの運行）
- バス停待合施設の整備（・小杉駅南口のバス停に待合室設置を検討）
- 万葉線の延伸（・中新湊～小杉駅まで延伸⇒あいの風へ乗り入れ）
- 民間協力によるP&Rの推進

5) 地域の歴史や文化を活かした魅力づくり

- 地域の歴史・文化を伝える人材、体制づくり（・地域の歴史・文化の発信と学びの場の整備、・旧北陸道のイベントを、内川並みの頻度で行う）
- 歴史的な街並み保全等に対する支援（・町家の修景事業等への補助、・旧街道まちなみアート

展への補助と通路の整備)

○旧街道の資源を結ぶ

6) 地域コミュニティの維持・充実

○世代間の交流、既存施設の活用 (・子育て世代とシニア世代の交流、・コミセンと保育園、児童館との連携を図り、老人、子供の地域交流を深める)

○地域人材の発掘 (・隠れた才能の発掘 (特技等)、・若者をコミュニティに引き出す)

○コミュニティ活性化の仕組みづくり (・高齢者が集える場づくりと世話人の組織化、・増加している外国人住民の受入れ、地域活動への参加が出来る仕組みづくり)

7) 自然環境を活かした魅力づくり

○下条川の水辺環境の活用 (・下条川で釣りが楽しめる環境づくり、・下条川沿い散策路の充実、・桜並木の延伸)

○下条川を軸とした周辺地区との連携 (・海の文化と連携し回遊性を高める)

2 学生意見交換会における意見のまとめ

「小杉駅周辺の将来について」をテーマに、令和元年度に市内の高等教育機関に在籍する学生を対象にしたワークショップ形式による意見交換会で得られた意見等を以下に整理する。

1) 小杉駅周辺へ行ってみたいと思える理想の姿

- ・好きな飲食店 (魂心家、くるまやラーメン) やおしゃれなカフェ (タリーズ) がある
- ・複合アミューズメント店 (ラウンドワン) 一人カラオケ、映画館がある
- ・アウトレット店や飲食店、雑貨店が立地する地下街がある (高岡駅地下街のように)

2) 小杉駅周辺で楽しい時間を過ごせると思える理想の姿

- ・勉強できる場がある (カフェ等併設) やコワーキングスペース、フリースペースがある
- ・高規格 Wi-Fi が整備されている。コンセントが使える
- ・図書館や漫画図書室 (無料) がある
- ・水を使った美しく安らぐ空間、面白く楽しめる空間や緑豊かな空間がある
- ・自宅のように安心して利用できる綺麗なトイレや休む場所がある

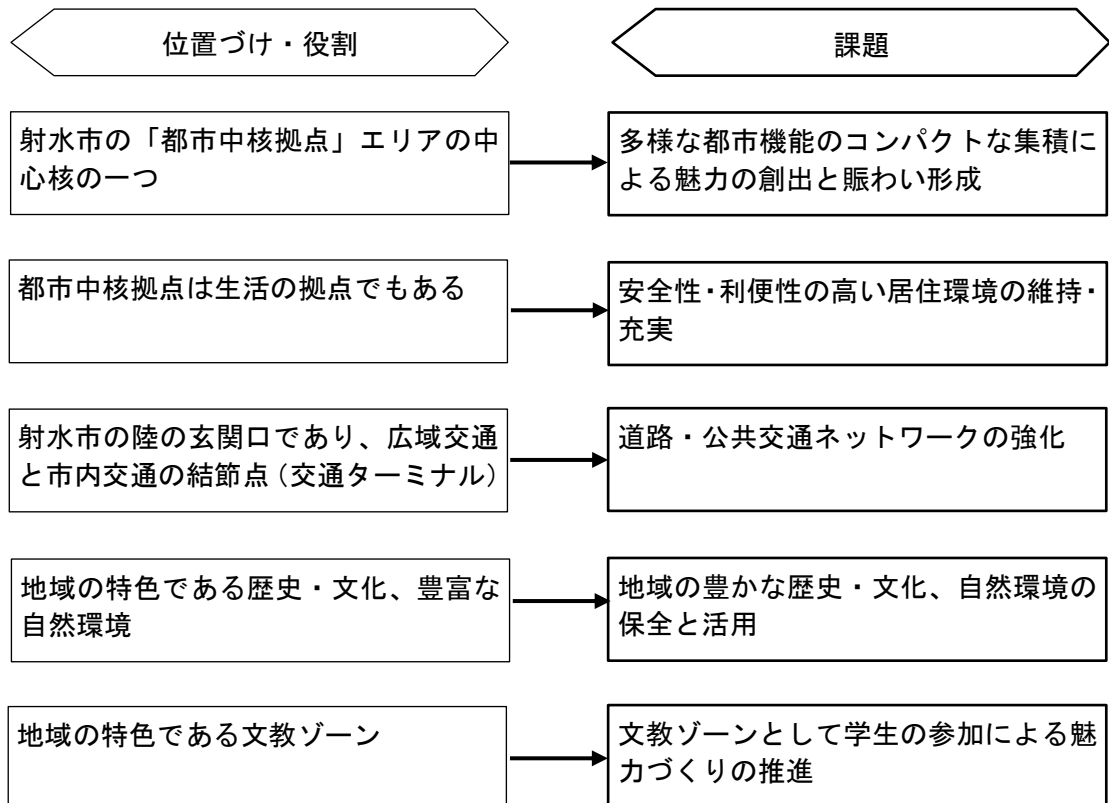
3) 小杉駅周辺で何かしたいと思える理想の姿

- ・VTuber スタジオ (ライブができる) がある
- ・大画面でゲーム、実況動画が楽しめる場がある
- ・多目的オープンスペース (イベント会場等)、遊び空間がある
- ・展示スペースがある (市民による自由な表現の場、若い芸術家の活動の場)
- ・音楽表現スペースがある (自由に利用できるピアノ設置など)
- ・スポーツ、エクササイズが楽しめる場がある (テニスコート、ボルダリング、体育館など)

第4節 課題の設定

小杉駅周辺地区における現況や上位計画における位置づけ、地域住民の意向等を踏まえ、地域の課題について整理する。

小杉駅周辺地区の位置づけ・役割と課題



第2章 地域の活性化に向けた施策の方向性の整理

第1章で整理した小杉駅周辺地区の現況及び課題を踏まえ、当該地区において地域の活性化に向けて取り組むべき施策の方向性について整理する。

1 小杉駅を中心とした都市機能の集積と賑わいの形成

(1) 小杉駅の駅舎及び周辺の低利用・未利用空間の有効活用による都市機能集積誘導

- ・ 駅のアクセス性、集客力を生かし、駅周辺への日用品・サービス店舗、医療・福祉施設、子育て支援施設等の立地誘導
- ・ 駅舎の多機能複合化、駅前低利用空間の再開発の検討
- ・ 駅舎の南北一体化の検討

(2) 歩いて楽しい地域づくりの推進

- ・ 空き店舗等の活用促進による既存商店街の活性化
- ・ 既存の公共空間・施設等を活用した市民の交流場所、休憩場所等の整備
- ・ 公共施設や商店街等を結ぶ快適な歩行空間ネットワークの整備

(3) 文教ゾーンとしての魅力づくりの推進

- ・ 学生にとって居心地のよい居場所づくり
- ・ 学生が勉強（活躍）できる場・機会づくり、学生同士及び市民との交流の場・機会づくり

2 安全性・利便性の高い居住環境の維持・充実

(1) 市街地内の空き地・空き家等、低利用・未利用物件の有効活用

- ・ 低利用・未利用地の計画的な整備（土地区画整理の検討）
- ・ 良好な住宅ストック（空き家等）の活用（住替えなどによる不動産流動化の促進）

(2) 生活道路の改善整備

- ・ 通学路等の安全対策（歩道設置、自転車レーンの整備等）
- ・ 狭隘道路の拡幅、行き止まり道路の改善

(3) 地域コミュニティの維持・充実

- ・ 住民の交流などの活動（活躍）の場・機会の充実
- ・ 担い手やリーダー人材の発掘・育成

(4) 災害対策の充実

- ・ 下条川の洪水対策、低地エリアでの雨水排水施設の増強

- ・防災空間の適正配置、避難施設の充実

3 道路・公共交通ネットワークの強化

(1) 小杉駅における多様な2次交通機能の乗り入れ拡充と乗り継ぎの利便性の向上

- ・小杉駅の乗り継ぎ機能の整備（乗り継ぎの円滑性と待ち時間等の快適性等の確保）
- ・小杉駅の橋上駅舎、南北自由通路の整備検討
- ・デマンド型交通や新たな交通手段の導入の検討
- ・パーク&ライド駐車場・駐輪場の整備

(2) 周辺地域との公共交通ネットワークの強化

- ・公共交通による周辺地域や拠点施設との連絡の強化
- ・新たな交通システムの導入等による地域間の連絡強化
- ・観光資源が豊富なベイエリア周辺等との連絡の利便性の強化

(3) 鉄道を横断する南北交通の強化（人も車もスムーズに）

- ・小杉駅周辺の南北道路の拡充（拡幅、歩道設置等）
- ・踏切の拡幅検討

(4) 駅利用者への快適なサービス機能、もてなし機能の整備

- ・観光情報案内所、シェアサイクル等の整備
- ・待ち時間を快適かつ有意義に過ごすためのサービスの充実と空間整備
- ・観光ボランティアガイド等の充実
- ・駅舎や駅周辺でのバリアフリー化の推進、ユニバーサルデザインの導入

4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

(1) 旧北陸街道筋での街並み形成と歴史・文化資産の活用

- ・歴史を感じる建造物や歴史・文化資産を活かした街並みの保全・形成
- ・歴史・文化イベントの継承・創出、情報発信の充実
- ・歴史・文化の体験・学習の充実

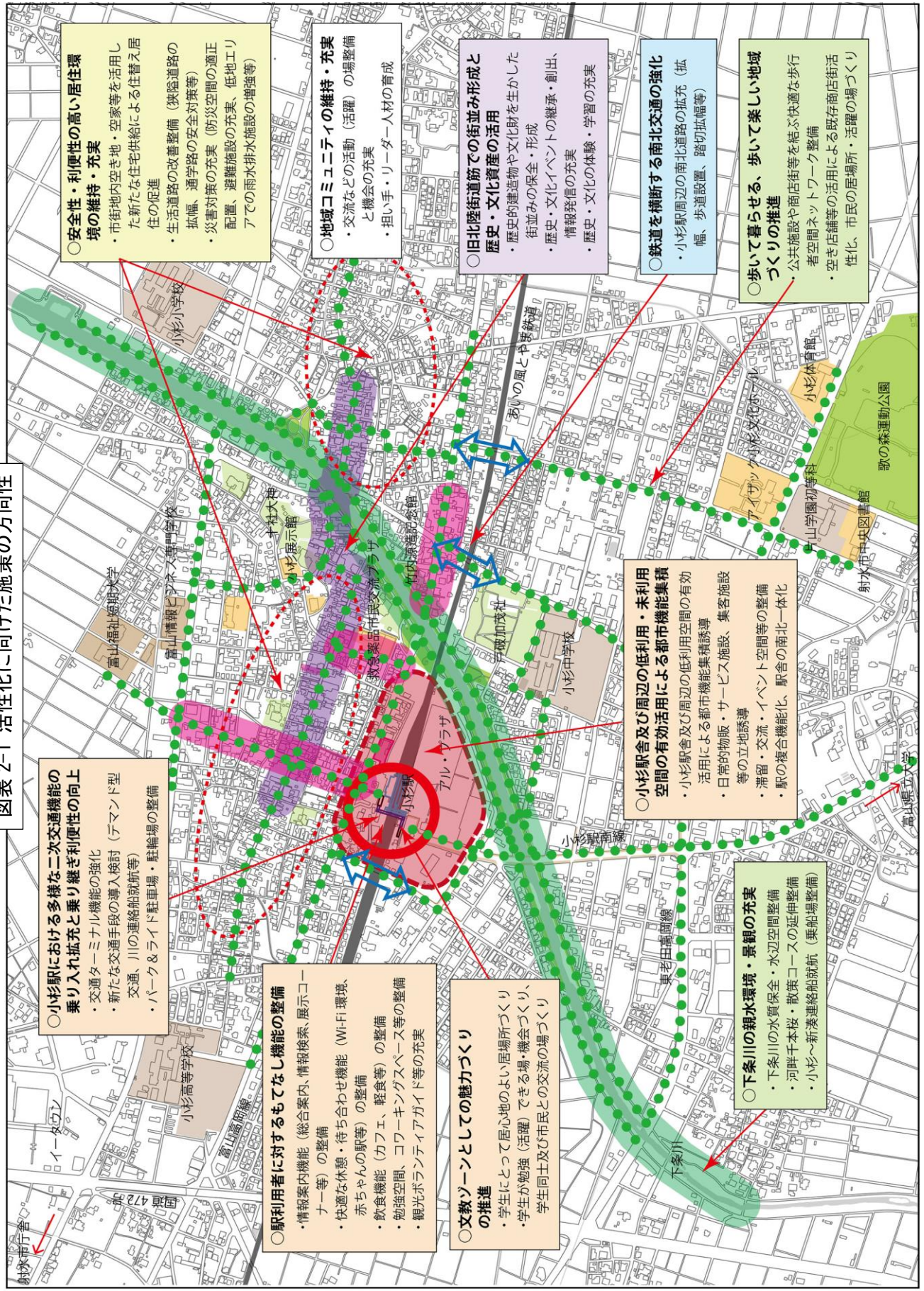
(2) 下条川の親水環境・景観の充実

- ・下条川の水質向上と水辺空間の活用
- ・景観の充実（千本桜の延伸等）
- ・下条川を活かした小杉～新湊間の遊覧船の就航と発着場整備の検討

(3) 歩行者ネットワークの整備（歩いて楽しい歩行者空間及び沿道整備）

- ・歴史、文化、緑地空間を活かした歩いて楽しい歩行者ネットワークの整備
- ・河畔ウォーキングコースの延伸、休憩施設等の配置

図表 2-1 活性化に向けた施策の方向性



○安全性・利便性の高い居住環境の維持・充実

- ・市街地内空き地・空家等を活用した新たな住宅供給による住替え居住の促進
- ・生活道路の改善整備（狭隘道路の拡幅、通学路の安全対策等）
- ・災害対策の充実（防災空間の適正配置、避難施設の充実、低地エリアでの雨水排水施設の増強等）

○地域コミュニティの維持・充実と機会の充実

- ・交流などの活動（活躍）の場整備
- ・担い手・リーダー人材の育成

○旧北陸街道筋での街並み形成と歴史・文化資産の活用

- ・歴史的建造物や文化財を生かした街並みの保全・形成
- ・歴史・文化イベントの継承・創出、情報発信の充実
- ・歴史・文化の体験・学習の充実

○鉄道を横断する南北交通の強化

- ・小杉駅周辺の南北道路の拡充（拡幅、歩道設置、踏切拡幅等）

○歩いて暮らせる、歩いて楽しい地域づくりの推進

- ・公共施設や商店街等を結ぶ快適な歩行者空間ネットワーク整備
- ・空き店舗等の活用による既存商店街活性化、市民の居場所・活躍の場づくり

○小杉駅における多様な二次交通機能の乗り入れ拡充と乗り継ぎ利便性の向上

- ・交通ターミナル機能の強化
- ・新たな交通手段の導入検討（デマンド型交通、川の連絡船就航等）
- ・パーク＆ライド駐車場・駐輪場の整備

○駅利用者に対するもてなし機能の整備

- ・情報案内機能（総合案内、情報検索、展示コーナー等）の整備
- ・快適な休憩・待ち合わせ機能（Wi-Fi 環境、赤ちゃん等の駅等）の整備
- ・飲食機能（カフェ、軽食等）の整備
- ・勉強空間、コワーキングスペース等の整備
- ・観光ボランティアガイド等の充実

○文教ゾーンとしての魅力づくりの推進

- ・学生にとって居心地のよい居場所づくり
- ・学生が勉強（活躍）できる場・機会づくり、学生同士及び市民との交流の場づくり

○小杉駅舎及び周辺の低利用・未利用空間の有効活用による都市機能集積

- ・小杉駅舎及び周辺の低利用空間の有効活用による都市機能集積誘導
- ・日常的物販・サービス施設、集客施設等の立地誘導
- ・滞留・交流・イベント空間等の整備
- ・駅の複合機能化、駅舎の南北一体化

○下条川の親水環境・景観の充実

- ・下条川の水質保全・水辺空間整備
- ・河畔千本桜・散策コースの延伸整備
- ・小杉～新湊連絡船就航（乗船場整備）